

# 強化関連情報

強化委員会

## 第12回IAAF世界陸上競技選手権ベルリン大会選手選考基準について

6月9日に開催された日本陸連理事会・評議員会において、明年8月15日～23日、ドイツ・ベルリン市で開催される第12回IAAF世界陸上競技選手権ベルリン大会の選手選考基準が、以下の通り承認された。主な特徴は、今夏の北京オリンピックのメダリスト（マラソン）や、入賞者の各種目最上位者に出場の資格を与えたこと、マラソンでは3月の理事会・評議員会での保留事項についてIAAF公認の海外マラソンの成績も選考対象としたことなどが挙げられる。

### 一般種目・競歩種目代表選手選考基準

#### 1 選考競技会

- 1) 一般種目（男女）・第93回日本陸上競技選手権大会（2009年）・平成21年度日本グランプリシリーズ各大会（2009年）・平成21年度IAAFグランプリ大阪大会（2009年）
- 2) 競歩種目（男女）・第92回日本選手権競歩大会：男女20km競歩（神戸：2009年）・第93回日本選手権大会：男子50km競歩（輪島：2009年）・第33回全日本競歩大会：男女20km競歩（根上：2009年）・第47回全日本50km競歩大会（高島：2008年）

#### 2 選考基準

##### <一般種目（男女）>

- 1) 第29回オリンピック競技大会（北京）の入賞者の中で、日本人最上位の競技者に出場の資格を与える。また、最上位のものが辞退した場合は、次の入賞者の上位者に資格を与える。
- 2) 参加標準記録有効期限内（以下、期限内）に参加標準記録Aを突破し、第93回日本陸上競技選手権大会（以下、日本選手権）で優勝した競技者を代表選手とする。
- 3) 期限内に参加標準記録Bを突破し、日本選手権で優勝した競技者を代表選手とする。
- 4) 期限内に標準記録（A、B）を突破し、日本選手権で上位入賞、或いはその他の選考競技会で優勝または上位入賞した競技者の中から、本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。
- 5) リレー種目の代表選手の選考は、種目の特性を考慮するものとする。

##### <競歩種目（男女）>

- 1) 第29回オリンピック競技大会（北京）の入賞者の中

で、日本人最上位の競技者に出場の資格を与える。また、最上位のものが辞退した場合は、次の入賞者の上位者に資格を与える。

- 2) 参加標準記録有効期限内（以下、期限内）に参加標準記録Aを突破し、第92回日本陸上競技選手権競歩大会（男女20km）及び第93回日本陸上競技選手権競歩大会（男子50km）で優勝した競技者を代表選手とする。
- 3) 期限内に参加標準記録Bを突破し、日本選手権で優勝した競技者を代表選手とする。
- 4) 期限内に標準記録（A、B）を突破し、日本選手権で上位入賞、或いはその他の選考競技会で優勝または上位入賞した競技者の中から、本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。

#### 3 選考日程

- 1) 代表選手は、全ての選考競技会の結果から第93回日本陸上競技選手権大会直後の理事会において選考される。
- 2) 上記の代表選手に入らなかった一部の代表選手の選考を、世界陸上競技選手権大会最終エントリー期日までに行うことがある。

#### 4 本大会

本大会は、平成21年8月15日から8月23日まで、ドイツベルリン市で開催される。

#### 5 その他

- 1) 本大会までに故障などにより、競技力を十分に発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す。
- 2) 種目毎の代表選手はIAAFエントリールール以内の人数とする。
- 3) 参加標準記録の有効期限は、別表（P234）のとおり。

### マラソン代表選手選考基準

#### 1 選考競技会

- 1) 男子マラソン・第62回福岡国際マラソン大会（2008年）・2009年東京マラソン大会（2009年）・第64回びわ湖毎日マラソン大会（2009年）※第29回オリンピック競技大会（2008年／北京）
- 2) 女子マラソン・2008年東京国際女子マラソン大会（2008年）・2009年大阪国際女子マラソン大会（2009年）・2009年名古屋国際女子マラソン大会（2009年）※第29回オリンピック競技大会（2008年／北京）

#### 2 選考基準

- 1) 第29回オリンピック競技大会（北京）男女マラソンのメダリストの中で、日本人最上位の競技者に出場の資格を与える。また、最上位のものが辞退した場

合は、次のメダリストの上位者に資格を与える。

- 2) 日本陸連主催の各選考競技会（男女各3大会）で、日本人1位となった競技者を代表選手とする。
- 3) 1) 項の該当者がいない場合は、主催3大会から2) 項の他にあと1名の代表を選考する。
- 4) 上記以外の1名を、指定された期間内に実施されたIAAFが承認する全マラソン大会（国内外、ただし、国内においては主催男女各3大会および男子マラソン：第58回別府大分毎日マラソン大会、女子マラソン：2008年北海道マラソン大会に限定する）の参加者の中から代表を選考する。なお、競技会の有効期間は、別途定める。

### 3 選考日程

- 1) 選考基準1) 項、2) 項による内定は、該当する成績を収めた時点とする。
- 2) 上記以外の代表選手は、対象となる全ての競技会の結果から平成21年3月の理事会、評議員会において選考される。
- 3) 代表選手の内定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、最終エントリー締切日までに正選手に故障などが生じた場合は補欠が正選手となり本大会に出場する。

### 4 本大会

本大会は、平成21年8月15日から8月23日まで、ドイツ、ベルリン市で開催される。

### 5 その他

- 1) 本大会までに故障などにより、競技力を十分に発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す。
- 2) 参加標準記録の有効期限は、以下の通り。

種目	有効期限
一般種目	2008年1月1日～2009年8月3日
マラソン・競歩・混成競技	2007年9月3日～2009年8月3日
リレー種目	2008年1月1日～2009年8月3日

## 第12回世界ジュニア陸上競技選手権大会 代表選手決定

本年、7月8日～13日に開催される第12回世界ジュニア陸上競技選手権大会（ポーランド：ビドゴシチ）の代表選手を、選考基準に則り選考、決定した（表1参照）。

## 第13回アジアジュニア陸上競技選手権大会報告

強化委員会副委員長 ジュニア育成部長 原田康弘

第13回アジアジュニア陸上競技選手権大会が、6月12日から15日の4日間、インドネシアのジャカルタで36カ国600名が参加し開催された。日本は、岡崎寛団長（日本

陸連・理事）以下役員15名、選手は男子20名、女子12名の合計47名の選手団で臨んだ。今回の大会時期が、高校インターハイのブロック大会と重なり、選手選考は大学生中心の選考となったが、若干名の高校生も選考され、選手32名中28名が大学生、4名が高校生の編成になった。

6月9日に成田を出発し、ジャカルタまで直行便で7時間のフライトだったが非常に快適で、時差も2時間と生活リズムをあまり変えることなく順調に移動できた。更に、当初ジャカルタの気候は高温多湿と想定し、暑さに対する急な体調管理が難しいと考え最終のコンディション調整に若干の不安を感じていたが、現地はこの時期としては大変めずらしく時々雨が降り気温の低い日も多く、湿度は高かったものの思ったより暑さを感じなかった。

特に大会前2日間の調整トレーニングを日中に行うため体力消耗が心配されたが、各コーチの最善の努力によって順調に調整することができた。また、ホテルから競技場までのアクセスもシャトルバスが運行していたが、会場には徒歩15分程でいける距離で競技時間に合わせ自由に行動できたことで、選手やコーチにとっては安心して競技に打ち込めた。

宿舎のホテルも素晴らしい施設で、生活環境については、申し分なく快適に生活ができ、食事内容もバイキング形式で野菜、果物なども豊富で問題はなかった。

日本チームの大会成績は、金6、銀2、銅7のメダル15個であったが、今回の選手構成から評価すると、かなり善戦した大会であったといえる。前回大会と金メダル数は同じであったが、内容を見るとあと2個くらいの金メダルが取れた感じであり、この点は非常に残念であった。

大会初日の女子3000m決勝で沼田未知選手（立命大）が圧倒的な強さで優勝し、日本チームとして幸先の良いスタートを切った。続いて、女子棒高跳でも住石智子選手（日体大）が中国選手との競り合いで勝ち、男子110mJHで中村仁選手（筑波大）が最後まで粘り強いレース展開で13秒69の日本ジュニア新記録で優勝、日本チームのムードを一層高めた。棒高跳に出場した有明侑哉選手（関学大）はランキング1位で臨み、雨の為競技が一日順延になったが4m80で優勝を決め、自己の記録に挑戦し5m20（自己タイ）で優勝したが、5m30を跳ぶ力は十分持っている。400mHでは記野友晴選手（福岡大）が、記録を狙った積極的なレース展開で自己記録を大幅に更新し、50秒76で優勝した。最終日、400mHと男子400mリレーの優勝の場面はインドネシア大使に観戦いただき、非常に感動していただいたが、金メダリスト達も大使と面会し激励を受け、良い思い出になった。また主催者の配慮で400mH優勝の記野選手の表彰は、大使がプレゼンターとなって行った。

# 強化関連情報

強化委員会

平成19年3月12日に開催された日本陸連平成18年度第4回理事会、定時評議員会において、強化に関する以下の項目が承認されたので報告します。

## 第29回オリンピック競技大会 (2008/北京) 日本代表選手選考基準について

承認された選考基準は、下記の通り。

### ■選考競技会

#### 1) 一般種目 (男女)

- ・第11回世界陸上競技選手権大会
- ・第92回日本陸上競技選手権大会
- ・平成20年度日本グランプリシリーズ各大会
- ・平成20年度IAAFグランプリ大阪大会

#### 2) 男子マラソン

- ・第11回世界陸上競技選手権大会
- ・第61回福岡国際マラソン大会
- ・2008年東京マラソン大会
- ・第63回びわ湖毎日マラソン大会

#### 3) 女子マラソン

- ・第11回世界陸上競技選手権大会
- ・2007年東京国際女子マラソン大会
- ・2008年大阪国際女子マラソン大会
- ・2008年名古屋国際女子マラソン大会

#### 4) 競歩種目

- ・第11回世界陸上競技選手権大会
- ・第46回全日本50km競歩大会 (高島)
- ・第91回日本選手権競歩大会 (男子20km・女子20km、神戸)
- ・第32回全日本競歩大会 (男子20km・女子20km、根上)
- ・第92回日本選手権競歩大会男子50km (輪島)

### ■前提条件

1) 参加標準記録を以下の有効期限内に突破していることがすべての代表選手選考 (オリンピック大会参加) の前提条件になる。

2) 派遣団体及び派遣枠については、派遣団体である (財) 日本オリンピック委員会 (JOC) により決定される。日本陸連は3項の選考基準によって選考された参加資格を有している競技者の中から、JOCの示す派遣枠内の代表選手を推薦 (内定) する。

3) 正式の代表選手推薦 (内定) はJOCの派遣枠決定後となるが、相当数の派遣枠の提示を前提に、あらかじめ代表選手の選考基準を設ける。

表1 北京五輪参加標準記録有効期限

種目	有効期限
一般種目	2007年1月1日～2008年7月23日
マラソン・競歩・混成競技	2006年9月1日～2008年7月23日
リレー種目	2007年1月1日～2008年7月16日

※ただし、リレー種目は有効期限内のベスト2記録の平均が世界上位16カ国以内の場合となる。

4) 代表選手の正式決定は、JOC理事会による。

### ■選考基準

#### 1) 男女マラソン種目

①第11回世界陸上競技選手権大会男女マラソンのメダリストの中で、日本選手男女各最上位者1名を代表選手とする。

②上記以外の男女マラソン代表選手は、各選考競技会の日本人上位の競技者の中から本大会でメダル獲得または入賞が期待される競技者を選考する。

#### 2) 競歩種目

①第11回世界陸上競技選手権大会で入賞した競技者の中で、各種目の日本人最上位の競技者を代表選手とする。

②上記①項以外の選考については、参加標準記録Aを突破し、第91回日本選手権競歩大会 (男子20km・女子20km) 及び第92回日本選手権競歩大会 (男子50km) で優勝した競技者を代表選手とする。

③上記①②項以外の選考については、参加標準記録を突破し、第91回日本選手権競歩大会 (男子20km・女子20km) 及び第92回日本選手権競歩大会 (男子50km) 等の選考競技会で優勝または上位入賞した競技者の中から本大会で活躍が期待される競技者を代表選手とする。

#### 3) マラソン、競歩、リレー以外の種目

①第11回世界陸上競技選手権大会で入賞した競技者の中で、各種目の日本人最上位の競技者を代表選手とする。

②上記①項以外の選考については、参加標準記録Aを突破し、第92回日本陸上競技選手権大会で優勝した競技者を代表選手とする。

③上記①②項以外の選考については、参加標準記録 (A・B) を突破し、第92回日本陸上競技選手権大会等の選考競技会で優勝または上位入賞した競技者の中から本大会で活躍が期待される競技者を代表選手とする。

#### 4) 男女リレー種目

①指定期限内のベスト2記録の平均が世界上位16カ国以内の場合は、IOCおよびIAAFの規定に則してリレーチームを派遣する。

②リレーの代表選手は、個人種目に準じて別途定める選考基準により選考する。

### ■選考日程

#### 1) 男女マラソン

①男女マラソンの選考基準①項による内定は、該当する成績を収めた時点とする。

②上記①項以外は、選考基準に則して、すべての選考競技会の結果から平成20年3月の理事会、評議員会において選考 (内定) される。

③代表選手の内定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、最終エントリー締切日までに正選手に故障などが生じた場合は補欠が正選手となり本大会に出場する。

#### 2) マラソン以外の種目

①マラソン、リレー以外の種目の選考基準①項による内定は、該当する成績を収めた時点とする。

②上記①項以外は、リレー種目を含めて、選考基準に則して、すべての選考競技会の結果から平成20年7月の理事会、評議員会において選考 (内定) される。

### ■その他

本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す。

## 第17回アジア陸上競技選手権大会 代表選手選考基準について

2007年7月29日～8月2日・バイルト (レバノ)

承認された選考基準は、下記の通り。

### ■選考競技会

#### 1) 一般種目 (男女)

- ・第91回日本陸上競技選手権大会
- ・平成19年度IAAF大阪グランプリ陸上大会
- ・平成19年度日本グランプリシリーズ各大会 (ただし、申し込み期日までの大会)

#### 2) 競歩種目 (男女)

- ・第90回日本選手権競歩大会女子20km (神戸)
- ・第90回日本選手権競歩大会男子20km (大阪)
- ・第91回日本選手権競歩大会男子50km (輪島から六甲・神戸に変更)
- ・第31回全日本競歩大会 (男子20km・女子20km、根上)
- ・第45回全日本50km競歩大会 (山形)

### ■選考基準

#### □一般種目、競歩種目

・選考基準は優先順位順に列挙されている。選考は優先順位の高い順に決定され、同一種目では優先順位は覆らないものとする。